番号	１９	県別	広島	事業場所	太田川干潮域の干潟ほか
実施団体等	広島干潟生物研究会			代表者	川端　信之
事　業　名	ひろしま　ひがたの生きものふれあい事業				
事業目的	市民を対象に、現地観察会や室内での実験・講義、写真展等を行うことにより、干潟の生物に親しみ、理解しようとする意識を涵養し、身近な自然から地球規模の自然までを視野に入れた自然保護思想を培うとともに、環境リーダーの育成を行う。				
事業概要	①干潟観察会を８回実施 ②研究発表会及び写真展を実施 ③ボランティア養成研修会を 20 回実施（室内 15 回、野外５回）				
事業効果	①広島の貴重な自然の存在が多くの市民に浸透していき、子どもたちの情操教育にも役立ち、自然や生きものとふれあうことに繋がった。 ②中学２年生の女子２名の研究：広島県科学賞　準特選、 小学６年生の男子の研究：旺文社学芸サイエンスコンクールで全国２位を受賞した。 ③写真展は、多種多様な生物が生息・生育していることを多くの市民にアピールできた。				
活動状況	 資料集作成				